

寄居地方ユネスコ協会設立40周年

記念式典が開催されました！

昭和52年に設立された寄居地方ユネスコ協会が設立40周年を迎え、9月17日に中央公民館で記念式典を開催しました。同協会は、書き損じはがきの回収や文化事業を通しての募金活動、少年少女合唱団育成や子どもキャンプへの派遣などの教育支援活動等を行い、長年にわたり活動してきました。石澤邦彦会長は、設立40周年について「平和な社会づくりの鍵は『文化の力』。今後もユネスコ憲章を尊重し、地域文化の興隆の活動を中心に貢献したい」と話してくれました。



国際交流バスツアー開催！

和光市と3町村の相互交流事業

10月3日に、和光市主催の「小川町・東秩父村・寄居町の魅力を味わおう！国際交流バスツアー」が行われました。ツアーには和光市民と、和光市の姉妹都市であるアメリカ合衆国ワシントン州ロングビュー市の方々が参加しました。町では、鉢形城歴史館を案内させていただいたほか、鉢形城三鱗会による演舞を披露。さらに、ロングビュー市の方々に甲冑を着ていただき、武者を疑似体験していただきました。



株式会社きぬのいえ

「彩の国工場」に指定されました！

染色整理業の株式会社きぬのいえ（吉田昌弘代表）が「彩の国工場」に指定され、10月23日に知事公館で指定式が行われました。「彩の国工場」とは、技術力や環境面で優れている工場を、知事が豊かな彩の国づくりの協力者（パートナー）として指定するものです。吉田さんは「経営理念である“しゃれてほんもの！”を実践しながら、オリジナリティを追求する気持ちを大切に、新たな製品・技術を生み出し続けます」と話してくれました。



※第3回寄居若者会議は「荒川いかだ下り」へ参加する予定でしたが、荒川の増水によりいかだ下りが中止となったため、若者会議も中止しました。

第4回寄居若者会議開催！

今回のテーマは寄居を知る&アイデアの発散

9月23日に寄居若者会議を開催しました。今回は2部構成で行い、第1部は「寄居を知る」をテーマに、寄居を良く知る方をゲストにお招きし、メンバーと語り合っていました。今後「寄居で何かをやっていこう」としているメンバーにとって、寄居に関する知識を深める良い機会となりました。また、ゲストの方からも若者と話すことで「刺激になった」という感想も聞かれ、お互いに有意義な時間を過ごすことができました。

第2部は「アイデアの発散」をテーマに、メンバーが持ち寄った事業アイデアについて発表を行った後、グループに分かれ、各自のアイデアを「これはいい!」や「参加してみたい!」などに分類していくワークを行いました。その中で、「イベント開催」や「空き店舗等の活用」など、点と点であったアイデアが線で結ばれていきそうなものもあり、充実した議論が行われました。

今後も月1回ほどのペースで会議を開催し、若者会議で取り組んでいく事業について話し合っていきます。



寄居町の「今」を発信中！

 [公式Facebookをご覧ください。](#)

四季折々、さまざまな魅力にあふれる寄居町。町公式Facebookでは、そんな寄居町の「今」を随時発信しています。広報よりや町公式ホームページだけではなかなか伝えきれない、リアルタイムな町の魅力をぜひご覧ください。今回は、10月中に投稿した写真の一部をご紹介します。

いいね！寄居町 または  QRコードから簡単アクセス